



「富士山百景」オシャレな雲

VOL. 2584

# Rotary International

「善意を育み、奉仕の実践を」

第2584回例会 2017.7.26

ソング「国歌・それこそロータリー」



## 富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30  
 例会場:ホテルグランド富士  
 TEL(0545)61-0360  
 事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1  
 ホテルグランド富士内  
 会長:滝 克芳  
 副会長:植田 眞晴  
 幹事:石井 誠  
 副幹事:佐藤 昌久

### 会長挨拶

滝 克芳



本日は焼津の地より 2620地区 松村友吉ガバナーをお迎えして、新富士・富士2クラブの合同例会です。

今年度の国際ロータリーのテーマは「ロータリー：変化をもたらす」です。国際ロータリー会長 イアン H.S.ライズリー氏は奉仕を通じて地域社会に、

あるいは人々の人生に変化をもたらすと、また同時にロータリー自身も時代の変化に対応して変わってゆかねばならぬとおっしゃっています。

昨今、規定審議会の綱領も時代に対応する内容へと変わり、各クラブの裁量で運営を判断するようになってきました。そんな中でも基本的な部分 ロータリーの理念や価値観は変わることがないとおっしゃっています。

本日はそんな変化してゆく国際ロータリーの状況と、ガバナーの考え方などをお話していただき、今後のクラブの方向性や指針を作る上での参考にさせていただきたいと思えます。松村ガバナーご教授よろしくお願いたします。

### 親睦委員会

岸本 泰次

#### ☆私のスマイル

滝 克芳君・石井 誠君 松村ガバナー 焼津の地より ご指導ありがとうございます。

1年間宜しくお願いたします。

植田眞晴君 24年間勤めた消防団を、この春退団しました。これで社会奉仕はロータリー一本になりました。退職金でスマイルします。

井出清章君 松村ガバナー様ようこそお出で下さいました。一年間 富士、新富士共に頑張ります故よろしくお願致します。

宮下正雄君 熱中症の方が毎日来ています。温度、湿度風通しに気を付けて下さい。

小出隆久君 松村ガバナーさん、ご苦労様です。  
 磯西 昭君 何となく。

### 出席報告

岸本 泰次

2584回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	5名	27名	84.3%

2582回 7/12確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	32名	5名	27名	84.3%

〔ビジター〕 松村友吉氏(地区ガバナー)

森 美城氏・赤淵浩雄氏(新富士RC)

### 富士・新富士ロータリークラブ合同例会

2017.7.26



ロータリー：  
変化をもたらす

富士RC 第2584回例会  
 新富士RC 第1275回例会

司会:富士RC 会場監督 瀧 真砂人

#### 例会次第

- |                |                        |                                     |
|----------------|------------------------|-------------------------------------|
| 1. 開会点鐘        | 富士RC会長                 | 滝 克芳                                |
| 2. 国歌斉唱        | ソングリーダー                | 等 健次                                |
|                | エレクoon演奏               | 赤堀 浩子                               |
| 3. ロータリーソング斉唱  | ソングリーダー                | 等 健次                                |
|                | エレクoon演奏               | 赤堀 浩子                               |
| 4. 本年度テーマ唱和    | 富士RC幹事                 | 石井 誠                                |
|                | RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」   |                                     |
|                | 1) 真実かどうか              |                                     |
|                | 四つのテスト唱和               |                                     |
|                | 2) みんなに公平か             |                                     |
|                | 言行はこれに照らしてから           |                                     |
|                | 3) 好意と友情を深めるか          |                                     |
|                | 4) みんなのためになるかどうか       |                                     |
| 5. 会長挨拶        | 富士RC会長                 | 滝 克芳                                |
| 6. ゲスト及びビジター紹介 | 富士RC会長                 | 滝 克芳                                |
| 7. 会食          |                        |                                     |
| 8. 報告事項        |                        |                                     |
|                | 1) 幹事報告                | 富士RC幹事 石井 誠                         |
|                | 2) 出席委員会報告             | 富士RC出席委員長 岸本 泰次<br>新富士RC出席委員長 赤淵 浩雄 |
|                | 3) その他                 |                                     |
| 9. 本日の内容       |                        |                                     |
|                | 国際ロータリー第2620地区ガバナー公式訪問 |                                     |
|                | ガバナー挨拶及び卓話             | 地区ガバナー 松村 友吉                        |
| 10. お礼の挨拶      | 新富士RC会長                | 森 美城                                |
| 11. 閉会点鐘       | 富士RC会長                 | 滝 克芳                                |

### 例会プログラム予告

8月9日 クラブフォーラム (会員増強の推進)

8月23日 夜間例会 (納涼会) グリーンホテル屋上

# ガバナー公式訪問

国際ロータリークラブ第2620地区ガバナー 松村友吉氏



## ・ロータリーの経験

### (1) 私のロータリー歴

私は焼津ロータリークラブに所属する、松村友吉と申します。ロータリー歴は、1998年入会で今19年目に当たります。父がチャーターメンバーでしたが、体を壊しロータリーを退会すると言うことで、父と交代で44才の時入会しました。入会式のことは今でも覚えていまして、緊張しながら入会のご挨拶をして席に戻ると、大先輩が寄ってきて「おまえの親父さんの面倒を我々は見たのだから今度はおまえが我々の面倒を見る番だ」と言われ、まずいところに入会してしまった、と大いに後悔しました。実際は優しい先輩たちで、心配することは無かったのですが、あまり熱意も無く、出席率も良くない不良会員として数年過ごしました。ただ、委員長の役が回ってきて、プログラム委員長、職業奉仕委員長、会員増強委員長等を歴任し、だんだんクラブにも慣れてきて、数年前に会長を引き受けました。ただ、地区に出向した経験もなく、ガバナー補佐にもなったことも無い私が、先輩からガバナーの話を頂いたときは、本当にいいのかな、なれるのかな、と考えました。だだ、J Cの時から癖で、請われたら直ぐに、はい喜んで、とお引き受けするのがいいことだと思い込んでいて、勢いで受けてしまいました。2年前にガバナーノミネーデジグネートになり、不安を抱えながら、2年間地区やR Iのことを学んできました。それは密度の濃いい準備期間をいただいたと思っております。

### (2) ロータリーの組織で気づいたこと

この二年間、ノミネーとエレクトとしていろいろな会議に出席し、ロータリーのことを学んでいるうちに、2つのことに気づきました。すでにそんなことは百も承知だよ、いう方もいらっしゃると思いますが、私には大変新鮮な発見でしたので、述べてみたいと思います。

1つは、ロータリーには、日本の組織がなく、我々地区とクラブは直接R Iと繋がっているということです。私はJ Cにも所属していて、地区会長とかさせていたのですが、J Cでは、1番中心にあって力のある組織が日本J Cで、そこには会頭ほか多くの役員や事務局員が居てしかも霞ヶ関の近くに立派な会館も持っていて、全国のJ C組織を統轄運営しています。地区も東海地区や四国地区というように地域の名称が付き、日本J Cの統括を受けながらも独立した地域独特の運営をしています。ロータリーには日本ロータリーという組織はなく、R I日本事務局がオフィスを構えて活動していますが、あくまでR Iの組織で、独立した日本の組織ではありません。地区はすべてナンバリングで呼ばれ、静岡山梨地区は2620地区と、ある意味、味も素っ気も無い呼称になっています。私たち地区はR Iと直接つながり、ガバナーはR Iの役員になっています。各クラブは、R Iに対して、直接もの申せますし、投票資格も持っています。この組織構造の違いは大変大きく、我々ロータリアンは、よくよくこの組織のあり方を認識する必要があります。

2つめは、ロータリーの役職が単年度制であるなかで、毎年うまく引き継ぎあるいは更なる発展や飛躍をするための仕掛けが、大変絶妙に組み込まれていることです。例えば、ガバナーの引き継ぎの仕掛けで言えば、2年前からノミネー・1年前からエレクトとして多くの会議に出席する仕掛けがあり、また直前前任者のガバナー・エレクトと常に顔を合わせ情報交換する機会が大変多く設定されています。GETSや国際協議会はもちろんのこと、研究協議会やゾーン毎の多くのセミナーで現在も必要とされるロータリーの課題を学び、自分のガバナー就任にむけての事前準備が否応なくできるように仕組まれています。また、クラブにおいても、会長エレクトは会長の補佐役として常にそばに控え、1年間会長としての役割や振る舞い方を身近に見て学び、会長就任時にはある程度の知識と覚悟を持ち合わせるように仕組まれています。このあたりの仕掛けの絶妙さは、やはり発祥の地アメリカの戦略的思考方法がベースにあって100年かけて設計されたものであるように思います。もし我々日本の中小企業が1年発起して世界に打って出てグローバル企業を1から立ち上げようとするなら、このロータリーの組織運営に組み込まれた絶妙な仕組みを真似るといいと思いました。とにかくうまく出来た組織であると思います。

## ・イアン・ライズリー会長のテーマ

### (1) 「変化をもたらす」の意味と背景

本年度のR I会長イアン・ライズリー氏については、いろいろな機関誌でご覧になっているかと思いますが、再度申し上げますと、オーストラリアのメルボルンの郊外にあるサンドリングラムRCのメンバーで、公認会計士として成功している方です。奥さんともに体が大きくまた大変陽気な方です。この方のテーマが、「ロータリー：変化をもたらす」というもので、これについて改めてご説明いたします。変化をもたらす主体はロータリーです。そして、変化をもたらす対象は、2つあります。1つは外に向けて。112年の歴史を持つロータリーはこの間様々な活動を世界中で行ってきて、世界をよりよくするために変化をもたらしてきました。これからも同じように外に向けて我々は活動を展開していくわけですが、特にサンディエゴで言われたのが、行動の大切さです。Rotary In Actionという標語をたくさんいただきました。とにかく行動して結果を出していこう、ということです。中でも、END POLIO については、ロータリーとしても大変な成功事例だとしていて、まもなく撲滅が実現し、次の大きな事業に取りかかるタイミングであるが、次の事業もEND POLIOのように、世界的な規模で、他の世界的な機関と協力し合いながらロータリーの良さや強みを発揮する事業を見つけていきたいと言っていました。とにかく、外に向けてよりよい変化をもたらしていきたいでしょう、ということです。次に、内に向けての変化です。近年の規定審議会での議論を踏まえて、ロータリークラブの運営方法に柔軟性を持たせ、運営をやりやすくしていこうという動きがあります。これについては、イアン・ライズリー会長から、世界の環境変化への対応が必要である、というお話がありました。世界の環境変化は3つありまして、1. IT化 2. グローバル化 3. 少子高齢化 です。

※紙面の都合上以下省略とさせていただきます。

編集者 吉田浩之